

まほろばだより

MAHOROBA DAYORI

発行 〒673-0434 社会福祉法人まほろば
兵庫県三木市別所町小林字仕負谷 118-111
TEL 0794-82-9457

まほろばカーニバルを終えて ” 感謝と自己点検 ”



理事長
飯 降 政 彦

去る5月15日（日）、今年も、第23回を数える「まほろばカーニバル」を、3千人以上の方々がご参加下さり、晴天の下、大変賑やかに開催することが出来ました。当日は、折しも神戸まつりと重なりましたが、地域の皆様方をはじめ、斯くも大勢の皆様がお集り下さり、誠に有難うございました。またボランティアの方々をはじめ、日頃から社会福祉法人まほろばに御心をお寄せ下さる関係各位にも厚く御礼を申し上げます。

お寄せ下さる皆様方の真心を受けてカーニバルが開催できたことにより、我々当事者をはじめ各施設のスタッフの人たちに激励を頂き、皆が鼓舞され、勇ませていただきました。この勇みの心が利用者の皆さんにも及び、まほろばの全員が一つになって勇んだ一日でありました。重ねて深く感謝申し上げたいと思います。

こういった地域の方々の叱咤激励、周囲の皆様の声は、我々にとって、当法人が始まった初志に思いを致すきっかけになります。初心にかえて、自分たちの日頃のあり方を考える貴重な機会となるのです。社会福祉法人に限らず他のどんな組織にしる、紛争につながりかねない内部トラブル、金銭問題や虐待など、絶対にあってはならない不祥事は、初志を忘れ、士気が低下した時に起こります。初志を忘れた姿が、人間の成すこと故、つつい自己の利益追求、得失利害のこだわりとなってしまいがちです。

その意味で、このカーニバルは、皆様から御心を頂くことにより、我々は自己点検をし、反省し、またお互いに活発な意見交換をさせて頂く機会とすることができるのです。地域の皆様方が、大いに関心をもって我々の活動を見守り、意見を下さることを大変有難く思う次第です。

法人本部

— 評議員会・理事会開催のご報告 —

社会福祉法人まほろばは、平成28年5月31日（火）に第61回評議員会・第89回理事会を開催しました。

当日の会議では、平成27年度事業報告並びに平成27年度会計決算報告が審議され、いずれの議題も原案通り可決承認されました。また、報告として、監事監査報告・人事報告・寄付金報告・ホームいちょうの開設、ホームくすのきの改修工事について報告されました。

尚、この度社会福祉法人まほろばのホームページをリニューアル致しました。またご覧下さい。随時情報公開させて頂く予定です。宜しくお願い致します。

ホームページアドレス「<http://www.mahoroba.or.jp/>」

ホームくすのき開設



ホームまほろばでは、この度三木市志染町の志染駅近くの一戸建てを改装し、ホームくすのきを開設致しました。ホームまほろばとしては、8年ぶりの新住居となります。これまでは新築での開設したが、今回は初めて既存物件を改装しての取り組みとなりました。これは、この物件の立地の良さに加え、その間取りが、まるでグループホームをイメージしたようになっていたことが大きな理由です。

手直しするところは手直しし、内装については全てリフォーム。神戸市様からの補助を頂戴してスプリンクラー等の防災設備も完備させて頂きました。現在は5名の方が利用されていますが、常勤の世話人さんがいて、アットホームな環境の中で安心安全に毎日を送っています。

社会福祉法人まほろばでは、地域公益活動の一環として、これらグループホームを地域福祉活動の場として位置付けて、様々な取り組みを実践させて頂きたいと考えています。今後ともよろしくお願い致します。



ウェルフェアーマほろば

(就労継続支援A型)

— 人生いろいろ —

ウェルフェアーマほろばは、今年度で26年目を迎えています。当初は、知的障害者福祉工場として運営し、「雇用関係を結んで、一般就労と変わらない環境で働きたい」と願う人たちに、その機会の提供に努めてまいりました。現在は、就労継続支援A型として位置付けられ、より幅広いニーズに対応できるようになり、ウェルフェアーマほろばで働いている方の経歴や思いも様々です。学校を卒業されて、そのまま入職された方、就労移行支援や就労継続支援B型などの福祉サービスの利用後に入職された方、一般就労されていたけどリタイアされて、やっぱり福祉が安心できる、と再入職された方など人生いろいろです。

「ずっとここで働きたい」と思っている方がほとんどですが、「できれば一般企業に就職したい」と願っている方もいらっしゃいます。これからも、お一人おひとりの思いを大切に、自己実現に向けてのサポートができればと思っています。



和 なごみ

(特定相談支援・障害児相談支援)

— 寄り添う支援 —

平成25年から事業を開始した「和」もおかげさまで丸3年が過ぎました。2歳～65歳までの150名の方にご利用いただいております。

利用者の方の中には4月から保育園や幼稚園、小学校、中学校、高校に入園・入学された方、晴れて就職された方もいらっしゃいます。「これから起こるワクワクしたことやできるようになったこと、楽しかったことをたくさん教えてください。それから、新しい生活には環境変化でわからないことや困ることや不安なこともたくさん起こるかもしれません。一緒にどうしたらいいのか考えていきましょうね。」とお話をさせて頂いています。

人工知能（ロボット）の進化で、「人」が行う世の中の仕事は減ってしまうともいわれています。その中で和では、「人」にしかできない心が通い合ったお付き合い、相談支援をモットーに職員一同取り組んで参りたいと思っています。利用者の皆様や関係機関の皆様、今年度もよろしく願いいたします。



三木光司園

多機能型事業所（生活介護・就労継続支援B型）

新年度が始まり、はや2ヶ月がたちました。4月は「お花見」、5月は「まほろばカーニバル」がありました。

今年度の「お花見」は食べるだけではなく、「みんなでたこやきを焼いてみよう！」と声を掛けてみました。最初は職員が焼いている様子を横で見守っているだけでしたが、好奇心旺盛な方がいざ焼き始めると、その後は皆が寄ってきてワイワイ楽しくたこやきを焼いて盛り上がっていました。

まほろばカーニバルは、利用者の方がステージやブース販売で積極的に参加しまほろば30周年を盛り上げてくれました。また熊本大震災の募金活動では募金箱を持って会場内を回り来場者の皆様にご協力をお願いしました。



母屋

多機能型事業所（就労移行支援・就労継続支援A型・就労継続支援B型）

今年も恒例まほろばカーニバルが晴天の中開催されました。今年のカーニバルは昨年とは違い、母屋メンバー総勢35名が各担当を設け“感謝とふれあい”のテーマに添った“おもてなし”を行いました。みなさん自身の担当ブースで積極的に活動してくださいました。普段の作業では見る事の出来ない姿に、職員も色々気付くことが多かった1日でした。



（カーニバル終えてメンバーさんの感想）

Mさん：「たくさん売れて良かった。」

Aさん：「新しい取り組みやったな。募金も上手くできた。来年もやりたい。」

Hさん：「販売はお金の計算があるから難しいけど、“いらっしやいませ”と言えました。」

Oさん：「初めて参加で緊張しました。ケーキ美味しかったです。」

メンバーさんにとっても実りある1日となった様子です。

カーニバルが終わり、ほっと一息、5月末に母屋2階にて映画鑑賞をしました。

今回は“バケモノの子”というアニメ映画です。バケモノが人間の子供を育てるといったストーリー。「すごく良かった。レンタル行ってもう一度観たい。」や「ちょっと難しかった」など意見は様々でした。映画の内容が伝えたかったものは、“人間は色々な人々から多くの事を学びながら成長していく”“今日の自分があるのは多くの人ののおかげ”といった事だったように感じました。難しいですね（笑）（職員Mの感想）

仕事・イベント・余暇活動などを通じ、メンバーさんのQOLの向上に繋がるようこれからも色々考えて行きたいですね。

ホームにっこり

にっこり・28年春のエピソード

その1

平成27年度NHK歳末たすけあい義援金に応募した所、受配が決定し、翌年5月12日、待ちに待った車が納車されました。

黄色い車体にロゴが目立ち「なかなかええやん！」と思ったのですが、「ちょっと恥ずかしいわ」と言う声も……。街中で見かけた事もなく、本当によく目立ちますね。写真の車を見かけたら、「ホームにっこり」です。宜しくお願いします。

その2

夏本番を前に、世話人・入居者・職員みんなで協力し、網戸の張替えをしました。開所して9年、イタミが目立ち始め、見る度に穴が大きくなり、「やらなければ」と思いながら先延ばしになっていました。「やっと、やっと」の思いです。

慣れない作業に悪戦苦闘しながら、3時間で10枚を張り替えました。新しいって気持ちいい！今年の夏も暑くなりそうですが、これで風通しよく過ごせます。次は、庭に季節の花でも植えようかとそんな相談をしています。

日々の生活に負われ、つい見過ごしてしまいそうな季節の移り変わりを、にっこりの生活の中で感じてもらいたいと思いました。



第4回

まほろば感謝祭

のご案内



201



2016年10月1日 (土)

三木市文化会館(大ホール)

入場無料

みなさま
お誘いあわせのうえ
ぜひお越し下さい。